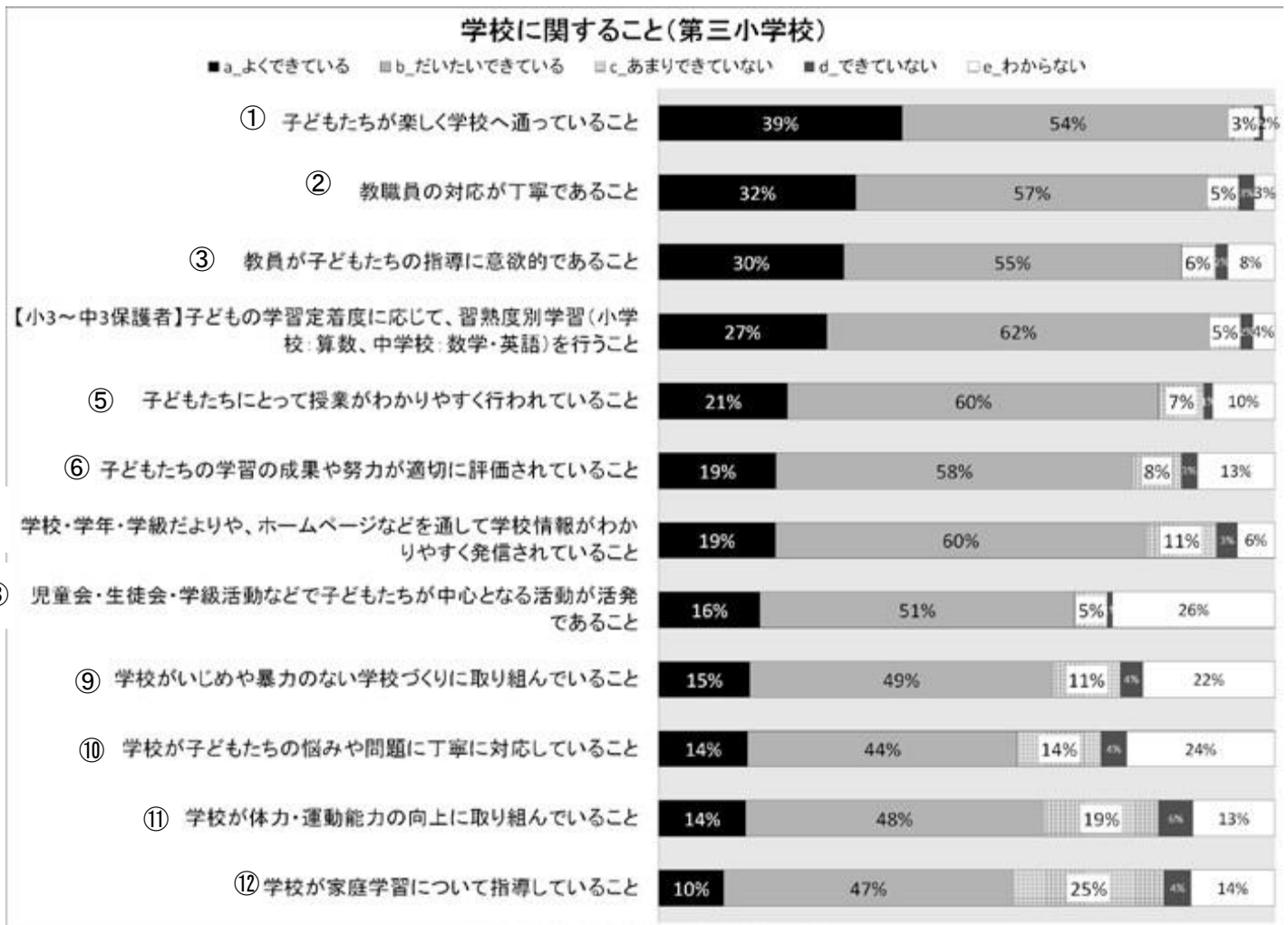


# 平成30年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

## 【第三小学校】

アンケート実施日： 平成30年10月24日～31日  
 アンケート対象者： 第三小学校保護者  
 回収率： 512世帯／537世帯（95.3%）



### アンケート結果から得られた課題

※「肯定的回答」…「よくできている」「だいたいできている」の合計  
 ※「否定的回答」…「あまりできていない」「できていない」の合計

- 全体として例年と同様の傾向が観られるため、肯定的回答のうち、「よくできている」の回答を増加させるための取組を計画・実行していく必要がある。
- アンケート項目⑧「児童会・生徒会・学級活動などで子どもたちが中心となる活動が活発であること」をはじめ、⑨「学校がいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいること」、⑩「学校が子どもたちの悩みや問題に丁寧に対応していること」の項目で、「わからない」という回答が2割を超えています。引き続き、内容の充実を図るとともに、取組の目的や内容についてご理解いただけるよう、学校便りやホームページ、学校公開の機会を通して、広く紹介していくことが課題です。
- アンケート項目⑫「学校が家庭学習について指導していること」について、昨年度から保護者会でどのように家庭学習に取り組むか、協力をお願いしています。学校でも家庭学習の内容や方法について例を示したり、授業と関連付けたりして指導しているところです。引き続き、御家庭での取り組みせ方を具体的に紹介していくとともに、自発的に学習することや継続性を大切にし、三鷹中央学園パワーアップアクションプランにある「授業と家庭学習の関連性を重視した指導を行う」ように、ご家庭と共に家庭学習の習慣づくりを進めていくことが課題です。

# 平成30年度の【第三小学校】の取組 成果と課題

## 成果

学校の取組について、例年に引き続き肯定的な評価をいただいています。

### 1 学力向上の取組

- (1) 学習ボランティアである多くの方の協力が基礎学力の向上につながりました。即時に「ほめてもらえる」「教えてもらえる」ことで達成感・充実感をもつことができました。本年度は特に音楽会に向けた楽器演奏の技術面でのご支援が児童の自信につながりました。
- (2) 3年生以上の算数の学習で、習熟度別指導の授業形態を取り入れています。この授業形態について9割以上の児童が肯定的に回答しています。保護者からの肯定的評価も昨年度比5%向上しています。学力調査結果でも、算数に限らず全ての教科で学習の定着がよく、特に思考力の伸びが見られます。
- (3) 学園研・校内研を通して、教員が共通理解して授業改善に取り組んでいます。板書の大切さやノート指導、授業の振り返りの内容の研修、よい授業やよい取組の紹介など、随時取り組んでいます。その結果、教える側も「めあて」「まとめ」「振り返り」を意識し、黒板に書く内容に生かすことで、授業中にいつでも「何をしているか」が分かり、児童が困ったときにも立ち戻れるようにしています。ノート指導の改善が授業そのものの改善につながり、児童の頑張りを評価するためにも活用しています。

### 2 地域と協働した「防災教育」の充実

みたかSCサポートネットや市防災課の協力を得て、全学年で防災の授業がさらに充実しました。災害への備えや災害時の行動を自ら考え、自身の安全を自ら守る自助の意識が高まってきています。

## 課題

### 1 アンケート結果を活かし、より良い学校づくりのための工夫を実践していきます。

全ての項目において、わずかでも否定的な回答があることを真摯に受け止め、教育活動の改善と啓発に努めていきます。そして、さらなる改善のためには、肯定的回答のうち、「よくできている」の回答を増加させることができるようにするための取組を工夫し、計画・実行していきます。

### 2 全教職員・保護者・地域が協働して「児童がより安心して登校できる学校づくり」を推進していくことで、保護者・地域の学校への理解を深めていきます。そのため、次のような取組を進めます。

- (1) 全教職員が一丸となり、生活や授業の中での児童の様子について日常的に話し合う場を設け、共通理解を図りながらチームで対応するとともに、保護者・地域に協力を求め、皆で「ほめる化」を推進します。
- (2) ふれあい月間の取組として、代表委員会で決めた『『ありがとう』『大丈夫』でやさしい三小をつくろう』等を合言葉として全校で取り組むとともに、保護者・地域に協力を求め、皆で児童の活動を後押しします。
- (3) いじめに関するアンケートを実施し、いじめを早期に発見し、事実を確認するとともに、個々の思いを汲み、適切に指導・支援していきます。保護者・地域に協力を求め、皆で「気づき」「声掛け」を推進します。
- (4) スクールカウンセラーと連携し、児童が何でも相談できる環境づくりを行うとともに、保護者や地域にも協力を求め、皆で「心の居場所」づくりを推進します。

### 3 評価の工夫の一層の推進により、児童の自尊感情を高めていきます。

- (1) 教科の評価内容・方法を検討し、小・中の系統性や一貫性を考え教員で共通理解を図っていきます。
- (2) 児童に、できていること、もう少しでできることをその場で伝えるとともに、次の指導に生かします。その後の児童の学習をよく見て、良くなったところをすぐに伝え、ほめるようにしていきます。
- (3) 授業中にもできるだけ個々の児童の学習理解の様子に対応した指導を行う時間をつくるよう授業展開を工夫しながら、学習ボランティア等の協力も得て、基礎的・基本的な内容を身に付けられるようにしていきます。

### 4 より一層の教育活動の充実のために、「働き方改革」を着実に推進します。

本年度は三鷹市教育委員会の方針に基づき、夏季休業中の学校閉庁日(連続9日間)や夜間・休日の電話応答メッセージシステムの稼働、教職員の休憩時間の確実な取得などの実施により、過剰な負担の軽減を図ってきました。引き続き、職員会議の効率的な運用による回数の縮減や校務分掌の見直しによる業務の縮小を図ることや、週1回の学年ノー残業デーの確実な実施によって、「教員の働き方を改革することを通して、最も重要な職務である児童・生徒の教育に力を注げる職務環境を整えていくことで、児童・生徒の学習をはじめとした学校生活のより一層の充実を図っていく。」という働き方改革の本来の目的を達成していくとともに、保護者・地域にその取組をわかりやすく説明してまいります。